

No. 率直な感想

初めてのオンラインミーティングでしたが、とても有意義でした。でも関東の参加者が多かったのもっとたくさんの方が参加されたら良かったのに、と思います。時間がもっと欲しいほど、短く感じまし

1 た。次回が楽しみです。ありがとうございました。

学びがありました！

2 日本キャンプ協会に一步近づいた感じ。

参加して本当によかったと思っています。佐藤さん、中丸先生のプレゼンも大変参考になりました。つくっていただいた資料、時間をかけてじっくり読み込みます。グループディスカッションもそれぞれの立場での意見を聞くことができ有益でしたし、コーディネーターの皆さんのおかげで、それぞれのディスカッション内容を共有することができました。いい時間でした。実行委員の皆さま、本当にありがとう

3 ございました。

4 各協会や団体の状況や取り組みが聞けていい勉強になりました。

とても有意義な時間でした。理由は主に次の2点です。

・キャンプを取り巻く状況を、広い視点から望むことができた。

5 ・zoomミーティングの運営について、多くの示唆が得られた。

6 多くの関係者とつながることができ、関心事の情報共有ができ、有意義な会議であった。

7 有益でした！

佐藤さんの発表は大変参考になりました。またどなたか書き込んでいましたが、このオンラインミーティングをどのくらい広げていくのか（オンラインに不慣れな会員にどのように参加を促すか、会員の意見をどのように吸い上げるか、有益な情報をどのように伝えるか）が課題ではないかと感じました。

この夏のキャンプを考える上でとても有意義な時間であった。

・特に他団体（海外）の情報提供をいただいたことが、キャンプ開催・非開催の判断を行う上でもとても参考になった。

・グループディスカッションで、それぞれの状況や考え方をシェアできたこともとてもありがたいと思った。ただ時間が非常に限られていたので、本番でも例えばテーマ別に深く議論する時間があってもいいかと思った。

10 それぞれの協会や団体の今の様子がわかり、しかもこの事態に対して積極的に働きかけをしていっているところが多く、頼もしく感じるとともに、お互いに繋がることで安心も感じました。

・様々な団体、地域からの参加があり、情報共有ができてとてもよかった。

・各団体が同じ悩みがあるとは思ってたが、顔を見ながらそれを共有できた。

・COVID19ゆえにオンラインでつながり、他団体、各地域で時間を共有できたことを前向きにとらえたい。今までなかったことなので。

11 ・事前に、各団体がどういうイベントを中止や延期にしたか集約があるとよかった(実行委員の皆さんが大変になるけど...)まだ判断に迷うものがあり、周りの動きを知りたいので。

まったく問題なく理解できました。ただ、いつも以上に「聞くだけ」になってしまいがちですね。時間を気にしたり、皆さんの反応が見えない分付度してしまったり、あまり知らない人が参加していると思うとなかなか発言できません。グループワークも、もっと話したいメンバーで集まって話したいですね。バラバラすぎて、話がまとまりません。まとまらなくていいと言いますが、あまりにまとまらないと、がっかり感があります。いつも話し合っている人たちとは有益な意見交換ができるのは、前段があるからです。ですので、こういう会でのグループワークを有益に感じたことはありません。なんか、もっとい

12 い方法はないのでしょうか。

今回のミーティングをご準備された方々、大変、ご苦労様でした。

参加させて頂き、久しぶりに「キャンプ」について、大いに話し込んだ2時間余りでしたが、職場でも「対処療法」的な会議が多い中、「キャンプのこれから」についてのミーティング、刺激になり、また、

13 明るい気持ちになりました。

まずはこのような場を準備いただきありがとうございました。協会関係者の中には様々な立ち位置の方がいらっしゃいますが、「地域の協会でCIどうしよう」というかたと、課程認定団体（校）で「今年はキャンプ実習中止です」という方の間に意識の違いがあるなと感じました。地域団体というスタンスで今回のこの話に入られた方は少し物足りなさ、疎外感があったかもしれません。CIのwebへの置き換えなども不勉強で申し訳ないですが協会の公式見解がどの程度周知されているのかわからないです。理事の先生方の中には普通に話されている方もいるので、情報の共有（見える化）が不足しているのではないかと

14 と思います。すべての協会が都度日キャンにアクセスするだけの親和性があるとは思えません。

集まったのミーティングとほとんど変わらないと思います、又自宅に参加出来るというのは時間を有効に使いながら（ながら会議ですみません・・・）できたし、日数的にも負担が少なく済みました（沖縄からだと1泊2日）

15 現状を色々な角度から知ることが出来て良かったです。実行委員の皆様、準備に時間をかけて下さり、ありがとうございました！アメリカは対応がしっかりしている、と感じました。日本も指針をすぐに出せるようにしたいですね。ブレイクアウトは短い時間でしたが、一人ひとりが発言出来る機会になりました。キャンプを具体的にどうしていくか、のヒントがあり、前向きに取り組む気持ちを奮い立たせていただいた時間になりました。早速、キャンプ担当スタッフと資料を共有し打ち合わせをしようと思います。

16 開催時間ですが、私にとってはちょうどいい時間でした。

17 ミーティングで何を話したらいいのか、つかみ切れませんでした。

18 webとは言え、顔を合わせて話し合えたことで安心感が得られた。

19 このスタイルで良ければ、全国から会議に参加しやすくなるのでいいと思いました。お陰で参加することができました。

No. 今年度のキャンプミーティングで取り上げてほしいトピック

1 コロナ感染拡大防止に留意して、可能なキャンプのあり方または、より大きな視点で、リスクがありながらも、それ以上に意味のある今だからできるキャンプについて

2 キャンプの学び、今はコロナ対策

3 (実施の) ガイドラインについて、オンライン講習のコツについて、など

今日の話でもありましたが、キャンプについてはニーズがあり、その傾向は右肩上がりの状況です。ですが、我々がそれを実感できないのはなぜかということに目を向けないといけないと思っています。私が感じているのは、今の時代、指導者が必要な組織キャンプに対するニーズは少なくなってきているということです。誰でも手軽に（ペランダでも）キャンプができる時代、キャンプをするのに指導者（プロ）が必要である理由が分かりづらくなっているのだと思います。レジャーとしてのキャンプの”楽しさ”が注目されるなかで、人を育てる組織キャンプの”教育的価値”をどうプロモーションしていくのかという

4 ことを、キャンプ業界にとって追い風になっている今だからこそ、真剣に考えていかなければならないと感じています。

5 全国各地の活動に関する情報交換。

6 三蜜とならない新たなキャンプの取組みとその成果

7 新しいキャンプの可能性

8 キャンプを実施の可否を判断した基準や考え方、どのような対策を取ったのか。キャンプ協会としての活動が自粛されるなか、会費を払っている会員に対するサービスをどのように担保していくか。

・キャンプ開催のフレームワーク

・キャンプが開催できなかったとしても、実施者・参加者をエンパワーメントできるようなアイデア（経済的にも心理的にも）

・この状況だからこそ得られたキャンプに関する新たな意義や価値

9 などなど

キャンプ活動を行うために必要な新型コロナウイルス防止対策について。

10 (キャンプ前・中・後の対策や、指導者に関する研修などをどのように進めていくか。)

・オンライン(キャンプ)で何ができるか。

11 ・新しい生活洋式でこそ求められる青少年活動・野外活動

12 旅行業法への対処の仕方、個人情報の管理の仕方など、もっと「専門家の専門的な話」を聞きたいです。

13 新型コロナウイルス感染症の発生により、キャンプの周辺で、改めて、見えたこと・分かったこと

キャンプの価値を確認するとか言っているうちに、キャンプ協会とか指導者資格という旧来型の価値が消えてなくなってしまうのではないかと危惧します。理事の方々もたくさんいらっしゃるのですから、「キャンプ協会としてすること」発信を積極的にしていただきたいと思います。（これはキャンプミーティングの話ではないですかね）。今回の共有事項（レクチャー）の範囲であれば資料を事前に読み込んで把握して各論に入った方が良いでしょう。もしくは足元の地域団体（都道府県協会）に寄り添うケアのプログラム@テーマ別個別相談のようなものがあるとよいですね。ウェビナーの作り方とか、具体的で主体的に

14 かかわれるものが良いと思います。

15 コロナ時代のキャンプ

16 次回のブレイクアウトではテーマ別に話し合いが出来たらと思いました！実習をどうするか、キャンプをどう運営するか、など。

17 事業開催時の感染症対策に関心がありますが、発病時の対応なども知りたいところです。

18 キャンプとwithコロナ

支部協会単体では出来ることが限られてきている。そんな中で協会としてできることはなんなのを見直す時期にきていると捉えています。各支部協会にとっての課題共有と、例えばブロック単位で共同で

19 きることがないだろうかといったことについて。